

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第1回情報のかけ橋委員会
2. 開催日時	平成29年4月20日(木) 午後1時30分～3時30分
3. 開催場所	市役所 5階特別会議室
4. 出席者氏名	(委員) [敬称略] <small>副市長</small> 永作友寛 山守一徳 中北直子 浅井榮二 伊藤あや 川口正人 (事務局) <small>危機管理特命理事</small> <small>課長</small> <small>主幹</small> 鈴木政博 浅井嘉人 岡田 久 勝田茂樹
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市 秘書広報課 広報広聴係 勝田 電話 0598-53-4312 F A X 0598-22-1119 メール kouhou@city.matsusaka.mie.jp

第1回情報のかけ橋委員会 議事録

【委員会 式次第】

1. あいさつ
2. 情報のかけ橋委員会委員の委嘱、委員長・副委員長の選任
3. 情報のかけ橋委員会の概要説明と今年度のスケジュール
4. ホームページの現状
5. その他

【内 容】

1. あいさつ

- 事務局 第1回情報のかけ橋委員会を開催いたします。まずは事務局が人事異動等から変更となっておりますので、永作副市長から順に皆様に挨拶を申し上げます。
- 副市長 この4月から副市長に就任しました永作です。これまでは建設関係の部長をしていましたが、副市長にというお話しをいただきさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- 理事 危機管理特命理事の鈴木です。二年前から危機管理面を担当させていただいております。今年からはいろんな意味での情報管理・広報を扱うようにという指示を受けて、この場に参加をさせていただいております、よろしくお願いいたします。
- 課長 この4月から秘書広報課長をさせていただいております。これまでは福祉関係の部署にいました、これからよろしくお願いいたします。
- 主幹 広報広聴を担当します、岡田です。これから皆さんからご指導をい

ただきたいと思しますので、よろしくお願ひします。

勝 田 去年から引き続き担当をさせていただきます勝田です。今年度からケーブルテレビ関係も広報広聴係に一元化されたことで業務が幅広く、総合的に広報のことができるようになったのかなと思っています。また、テレビも含めて今年度もよろしくお願ひします。

2. 情報のかけ橋委員会委員の委嘱、委員長・副委員長の選任

事務局 続いて委嘱状を永作副市長から皆さんにお渡しいたします。

(委嘱状を委員全員に手渡す)

事務局 それでは初めて委員になっていただいた方もみえますので、委員の皆さまにも自己紹介をお願ひしたいと思しますので、よろしくお願ひします。

山 守 三重大学でネットワークセキュリティを専門としています。そのようなことから数年前から委員をさせていただいております、よろしくお願ひします。

浅 井 初めて参加をさせていただきました、民生委員をさせていただいております浅井といいます。民生委員は8年ほど経験しております。専門的な知識はありませんが、お力になれるよう努めます。

川 口 松阪商工会議所の川口です、去年から引き続きお願ひします。商工会議所は事業所さんの経営指導だけでなく、地域振興、商店街活性化など幅広くさせていただいております、そのような立場からこの委員に入らせていただいているものと思ひます、よろしくお願ひします。

中 北 仕事でデザイン関係をさせていただいております、そういった面でご協力できる面があればと思ひます、よろしくお願ひします。

伊 藤 主にラジオ、ケーブルテレビなどに出演しております。松阪に住んでおりますし、松阪の魅力を発信できたらと思ひしております。また、松阪市のブランド大使もさせていただいておりますので、お力になればと思ひしております、よろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございます。続いて委員長・副委員長を選任させていただきたいと思っております。委員会要綱によると委員の互選により、決定するものとなっております。選定方法について、皆さんからご提案はいかがでしょうか。もし、ないということであれば、事務局から提案をさせていただきます。ありがとうございます。それでは、委員長を永作副市長、副委員長を山守さんをお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。異議なしということで、お願いしたいと思っております。それでは改めまして、委員長・副委員長に挨拶をいただければと思います。

委員長 副市長という立場に4月になったわけで、いろいろ各地に行かせていただくことも多くなったのですが、名古屋の企業を訪ねたときに、松阪のホームページは見やすいですね、工夫していますねと言われて、嬉しかったことがありました。やっぱり企業や市民の皆さんはホームページを見ていただいているのだなと感じました。それこそ、前年度皆さんからご意見をいただいた賜物かと思っております。今年度は6回ほど会議を開催する予定と聞いております。松阪市のPRの要と思っておりますので、ご指導をよろしく申し上げます。

副委員 委員長がご都合等でいらっしゃらない時はしっかり副委員長としてサポートをさせていただければと思っておりますので、よろしく申し上げます。

事務局 それではこれからの事項については委員長に進めていただこうと思っておりますので、よろしく申し上げます。

3. 情報のかけ橋委員会の概要説明と今年度のスケジュール

委員長 それでは早速、要説明とスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

事務局 事務局側にも異動がありましたし、新しく委員になっていただいた方もみえますので、改めてこの情報のかけ橋委員会について概要を説明します。平成23年5月に情報のかけ橋委員会は発足しました。主には当時の松阪市ホームページを全面リニューアルすること、市とホームページ利用者との情報の交流をかけ橋として、活用することを目的としていました。現在では市の広報全般について、意見をいただいております。委員構成については市職員の八橋さんに代わり、今年度は民生

委員児童委員協議会連合会理事の浅井榮二さんを委員として委嘱させていただきました。理由として、昨年度まではホームページのリニューアルに観光面からの意見を聞くために八橋さんを委員としていましたが、今年度は市の広報媒体のユニバーサルデザイン化も含めて幅広く市民の意見を取り入れるため、民生委員である浅井さんに依頼しました。直近の主な議事内容についてです。年に6回程度、委員会を開催します。平成27年度は広報紙のデザインリニューアル検討及びプロポーザル審査、ホームページのリニューアル方法について検討してきました。また、平成28年度はホームページのリニューアル検討及びプロポーザル審査、広報紙のデザインリニューアル周期検討、市公式SNS利用ガイドライン変更、情報のかけ橋委員会の要綱改定をしてきました。今年度の主な議事内容は、松阪市の広報全般に対する提言、広報まつさかのデザインリニューアルのプロポーザルを行う予定です。

広報まつさかは平成27年10月にデザインをリニューアルしました。昨年度の審議で、広報まつさかは3年に一度程度、リニューアルをするべきではないかとの意見でまとまったため、平成30年4月リニューアルを目指して、デザイン仕様・業者決定について審議します。また、行政chの番組に対する意見聴取も行います。松阪市行政chは昨年度まで自主運用していたことから、年に2回程度番組審議会を開催していましたが、昨年度のケーブルシステム事業の施設譲渡からこの義務がなくなりました。とはいえ、番組制作の市民意見聴取やクオリティの確認のため、情報のかけ橋委員会の中で番組内容の確認や今後取り組むべき番組制作などについて意見を聞かせていただきます。

続いて、要綱についてです。変更したのは行政ch関係を追加いたしました。その他は変更していませんので、割愛させていただきます。

続いてスケジュールについてです。1回目は委員の選任、ホームページの状況確認をしていただきます。2回目は広報まつさかのデザイン仕様、プロポーザルの検討、広報全般についての意見を皆さんから聞かせていただければと思います。3回目は行政番組について意見を聞きたいと思っております。4回目は広報まつさかのデザインプロポーザルの最終準備、5回目でプロポーザル審査を行う予定です。6回目は再度、広報全般について意見を聞かせていただきたいと思っております。7回目は予備ですので、必要に応じて開催するかもしれません。以上です。

委員 番組、行政chというのは具体的にどのようなものですか？

事務局 ご自宅にインターネット環境がある方は松阪市ホームページでもご覧いただけますが、基本的にはケーブルテレビ網を使ってご覧いただくというものです。毎時0分からアイウエーブまつさかという番組を20

分程度放送して、その後文字放送、続いて30分から特集番組が放送されます。特集は文化、安全安心、健康講座など様々です。その後文字放送または橿田川情報が流れるという周期です。放送時間帯は朝6時から深夜11時まで放送しています。メインとなるアイウエーブまつさかの更新は火曜日と金曜日の週2回です。他にも市長記者会見、議会本会議なども放送しています。ホームページリニューアルに合わせて行政chの番組は全てYoutubeに掲載し、スマートフォンやタブレットからもご視聴いただけるようになりました。概要については以上です。

委員長 その他、ご意見はありませんでしょうか。それでは次の事項に移りたいと思います。

4. ホームページの現状

委員長 それでは事務局より説明をお願いします。

事務局 ホームページトップページのメイングラフィックは必ず定期的に変更して、例えば、観光交流課や健康づくり課と協働で紹介する内容を決定しています。このメイングラフィックが変わることで、以前は代わり映えがないなと思われていましたが、ホームページが更新されたなという印象を閲覧者に与えられると思います。このメイングラフィックやその下の流れるバナーなどは昨日行った60人程度の市職員が参加した研修でも活用できることを伝えたので、より幅広い情報を提供していきたいと思っています。

また、リニューアルしてすぐの時はリンク切れが大変目立っていました。このリンク切れについては他の自治体でも課題になっているわけですが、リニューアルに伴い、リンク切れチェッカーを導入したことから、全てリンク切れしているものを検知し、各原課を指導し、全4500ページの中からリンク切れを1%以下で運用しています。またページ数がリニューアル前に9000ページあったものが現在はその半数になっていることから、検索結果がより精度の高いものになったと思います。また、先ほどもお伝えしましたが、ホームページ研修を4月早々に行いました。これは委員の皆さんから人事異動でホームページを更新するノウハウが原課からなくなってしまう恐れがあるというご意見をいただいたことから、年に1度研修会を開催することとしたからです。早速、初級・中級に分けて60人程度に参加をいただきました。

続いてアクセス状況についてです。今後アクセス状況については、検索サイトでの人気検索ワードランキング、松阪市ホームページのアク

セスランキング、松阪市ホームページの検索窓からの検索ランキング。この3つを定期的に調べ、表にし、原課に提供していきたいと思っています。職員への定期的な研修やアクセスランキングを通じて、より利用しやすいホームページを目指していきたいと思っています。

委員 アクセスランキングに例規集というのがあるが、何故このようなコンテンツに利用があるのか。

委員長 例規集については庁内からのアクセスが多いことが理由だと思います。

委員 このアクセス解析の表記というのが例えば直帰率やセッションなど、言葉として分かりづらいものがあると思うので、このあたりをもう少し噛み砕いて、分かりやすく原課に伝えてみてはどうか。

事務局 専門用語が多いので、原課の皆さんにもわかりやすい言葉に次回以降は注釈をつけるなどしていきたいと思っています。

委員 職員側から、ホームページの更新について難しくなったとか、意見をもらうことはないですか？

事務局 職員によって、新しくなったことから使いにくくなったという印象がある人があることは事実です。また、ウェブアクセシビリティについてより高度な基準を国が求めるようになったので、その基準に合わせてホームページを作るという意味では、これまでできていたことができなくなったという職員もいると思います。例えば文字の色がこれまでは自由に変えられたんですが、これが色覚弱者への配慮からできなくなったりしています。そういう意味で難しくなった、これまでできていたことなのに、という意見をもらうことはあります。ただ、サブサイト化によって自分たちでカテゴリを作ることができるようになったことで、管理を原課でできるようになったという点ではやりやすくなったという意見をいただくことも多いです。

委員長 松阪市民がどれくらい見てるかということは、アクセス解析からわかるのですか？

事務局 松阪市のアクセス解析にはグーグルアナリティクスというものを使用しているのですが、この中にアクセス元エリアという、いわゆるどこからアクセスしてきたのかということは概ねわかります。

委員 トップページのメイングラフィック横のマンホールなどが半分切れていませんか？

事務局 デザイン的な要素が高いと思います。また、これを全部入れてしまうと、画像が小さくなってしまいますので、中央の松阪牛の印象が薄くなってしまいかもかもしれません。

委員 メイングラフィックの横に、文化的なものがあってもいいかもしれません。例えば船形はにわ等もいいですね。

委員 松浦武四郎生誕 200 年という記念の年ですから、武四郎関連のコンテンツも充実させてほしいです。

事務局 ありがとうございます、特に武四郎については現在文化課と協議中です。検討させていただきます。

5. その他

事務局 その他意見はありませんか

委員 最近松阪商業高校に行く機会があったのですが、松阪市のホームページについて意見を聞いたんですが、大変好評でしたのでお伝えしておきます。

事務局 大変ありがたい意見です、ありがとうございます。

委員長 広報まつさかがどれくらい読まれているかはつかんでいるのですか。

事務局 5000 人アンケートの結果をふまえて、松阪市の発信する情報で最も見られている広報媒体であるという認識はあるのですが、その読読者年代層を見ると、どうしても 40 代以上となっており、例えば子育て世代には見ていただいていないことが分かっています。このことから特集内容を若い世代向けの内容にしたり、デザインを一新したりしました。

事務局 次回の会議日程についてですが、6 月 23 日の金曜日でよろしいでしょうか？ありがとうございます。次回もよろしく願います。